

福知山地車ユース

3月22日 ユニオン 青年女性委員会コース開催 実践で学ぶオルグ体験



福知山地本は、3月22日(日)地本会議室において、地本ユニオンスクール「青年女性委員会コース」を開催しました。各支部・分会・地本青女から9名の青年女性組合員が受講しました。

次に、田里書記長による「安全確立に向けた取り組み」の講義を行い、福知山線列車事故概要の説明、事故発生当時の状況が伝えられ、事故の教訓として



尾崎執行委員長

最初「青年女性組合員に期待すること」と題し、尾崎委員長による特別講義からはじまりました。ディスカッション形式で進められ、受講生からの質問を受け回答する形で、JR西労組運動や青年女性委員会の役割を説明しました。

「福知山線列車事故を決して風化させない」「107名の命を無駄にしない」「この事故を『今』に活かし、永遠の事故後とする」とし講義を締めくくりました。

「安全最優先」「ミスを言える職場」「違和感を見逃さない」ことの大切さが語られました。また、事故を防ぐために自分達に出来ることとして、「無理をしない」「違和感を伝える」「仲間に声をかける」ことを大切にしてもらいたいと受講生に伝えました。

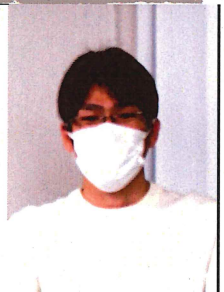


田里書記長

最後に、オルグについての講義「オルグについて考えよう!!」と題したグループディスカッションと、模擬でオルグを実践する「オルグ体験!!」を行いました。

- 安全文化の確立
- 組織について
- 産業別労働組合(産別)単位組合(単組)
- レクリエーション活動
- ゴルフ
- ネット引き
- ソフトバレーボール
- フットサル
- ソフトボール
- ボウリング
- 政治活動について
- 世話役活動について
- 総合共済
- JR「家族支援共済」
- こくみん共済coop(全労済)
- 青年女性委員会について

「安全最優先」「ミスを言える職場」「違和感を見逃さない」ことの大切さが語られました。また、事故を防ぐために自分達に出来ることとして、「無理をしない」「違和感を伝える」「仲間に声をかける」ことを大切にしてもらいたいと受講生に伝えました。



阿瀬教育部長

次の講義では、「労働組合の役割」と題し、阿瀬教育部長が講義を行いました。講義内容は次のとおりです。

- 労働組合の役割
- 雇用確保、労働条件の改善
- 会社経営のチェック
- 健全な組織の充実
- 勉強会やレクリエーション
- 各種相談など
- 労働協約について
- 安全文化の確立
- 組織について
- 産業別労働組合(産別)単位組合(単組)
- レクリエーション活動
- ゴルフ
- ネット引き
- ソフトバレーボール
- フットサル
- ソフトボール
- ボウリング
- 政治活動について
- 世話役活動について
- 総合共済
- JR「家族支援共済」
- こくみん共済coop(全労済)
- 青年女性委員会について



ディスカッションの様子



グループディスカッションでは「労働組合ってなに?」「労働組合は何をしているの?」「労働組合に入るメリットって何?」「労働組合には絶対に入っていないとダメなの?」「共済になぜ入らないといけないの?」等の新入社員からの質問を想定し、質問に対してどのように回答するかを皆で話し合いました。



ユニオンスクールの様子



地本役員・地本青女役員と模擬オルグを体験する様子

続いて、地本役員を新入社員役として、オルグ体験をおこないました。事前に資料を調べた知識と受講生ら自身の経験を交えて、しっかりと説明ができていて、思いを伝えることが出来ました。

ご参加いただきありがとうございました!